

2018年度GSKジャパン研究助成

募集要項に沿って審査が行われ、2018年度GSKジャパン研究助成者は以下の通り決定されました。

【2018年度GSKジャパン研究助成者 1/3】

敬称略・分野カテゴリー別申請順

氏名	所属機関名	研究課題名
中田 恭介	神戸大学	JCAD/KIAA1462のCOPDにおける役割と分子標的治療薬としての可能性の評価
小林 誠	東北大学	間質性肺炎における肺胞上皮前駆細胞の解析とFGF10の治療応用の検討
山本 武司	久留米大学	肺炎マイコプラズマによるPARP1の制御を介した持続感染機構の解析
山田 大資	東京大学	強皮症関連間質性肺疾患の病態におけるB細胞の形質異常の意義に関する検討
三浦 陽子	名古屋市立大学	間質性肺炎モデル由来PCLSのex vivo培養系の確立および線維化メカニズムの解明
佐藤 和秀	名古屋大学	ニワトリIgYを用いた光抗菌療法の開発
小野寺 克洋	東北大学	慢性閉塞性肺疾患における細胞老化に対するGrowth differentiation factor 11 (GDF11) の役割の検討
山本 聡	札幌医科大学	マクロライド結合蛋白質NIP-SNAPsの炎症反応・粘液分泌の分子機構の解明 ～気道閉塞性疾患に選択的な薬剤開発に向けて～
策 愛子	千葉大学	気道上皮細胞STAT3によるアレルギー性気道炎症制御機構の解明
金澤 潤	筑波大学	難治性気道疾患の精密医療実現に向けた研究－エンドタイプを分子ネットワークとして理解する－
太田 圭介	和歌山県立医科大学	Profilinがヒトパラインフルエンザウイルス2型によるactin制御に与える影響
牧口 友紀	東北大学	慢性閉塞性肺疾患の肺および骨格筋の臓器間コミュニケーションにおけるエクソソームの役割についての解析
平野 洋平	順天堂大学医学部附属浦安病院	炎症性ICAM-1高発現好中球遊走能と敗血症性肺障害における血液-肺分布評価
福富 友馬	国立病院機構相模原病院	気管支喘息におけるカンジダアレルギー：診断マーカーの確立と喘息難治化との関係
銭 雅敏	大阪大学	スーパーアパタイト内包型CpG ODNを用いた新規アジュバントの開発
住田 隼一	東京大学	間質性肺炎におけるリゾホスファチジン酸第4受容体の役割に関する検討
寺井 秀樹	北里研究所	CRISPR/Cas9遺伝子修飾システムと3Dオルガノイドによる肺疾患の理解と治療標的の探索
宮田 純	慶應義塾大学	重症喘息患者の末梢血由来好酸球の網羅的解析データベースを用いた新規治療標的分子の探索
山口 雄大	大阪市立大学	結核菌におけるメンブレンヴェシクルの産生機序解明と宿主細胞内生存における役割解析
那小屋 公太	新潟大学	慢性閉塞性肺疾患(COPD)に起因する嚥下機能低下の生理学的検証
三浦 綾子	宮崎大学	交感神経過活動の制御を焦点とするARDS新規治療法の開拓
高木 宏美	札幌医科大学	経鼻ワクチン投与時のIgA偏向性Tfh細胞の同定及びその誘導機構の解析
加藤 香織	産業医科大学	一酸化窒素合成酵素完全欠損マウスを用いた、肺気腫モデルにおける一酸化窒素の役割の検討
橋本 典生	東京慈恵会医科大学	慢性閉塞性肺疾患(COPD)でのサルコペニア発症病態におけるマイトファジーの役割の解明
小椋 英樹	兵庫医科大学	アレルギー性気道炎症の素因としてのCD4+T細胞のhomeostatic proliferationの解析
吉田 昌弘	東京慈恵会医科大学	特発性肺線維症におけるシャペロン介在性オートファジーの関与
斉藤 那由多	東京慈恵会医科大学	NCOA4依存性フェリチノファジーが制御するCOPD病態の解明
駒井 俊彦	東京大学	TGF-β3を介した自己免疫性間質性肺炎制御機構の解明
福地 峰世	秋田大学	組織における好酸球脱顆粒とETosis の定量的測定法の確立
田中 里江	東北大学	難治性喘息病態におけるイオウ代謝経路の役割についての検討
安藝 翔	金沢大学	肺前駆細胞分化を制御するエンドリソソーム・オートファジー系調節機構
大田 千晴	東北大学	HOPXによる肺胞傷害時のWnt/β-catenin signaling制御機構の解明
梶原 千晶	東邦大学	AMPK/eEF2K/eEF2シグナルの感染性呼吸器疾患における病態制御メカニズムと治療・創薬としての提案
樋口 誠一郎	千葉大学	GATA3転写複合体解析から捉える難治性気管支喘息の新たな病態メカニズム
安井 秀樹	浜松医科大学	動脈硬化マウスを用いた慢性閉塞性肺疾患 (COPD) モデルの作成

2018年度GSKジャパン研究助成

【2018年度GSKジャパン研究助成者 2/3】

敬称略・分野カテゴリー別申請順

氏名	所属機関名	研究課題名
宇都 倫史	宮崎大学	IL-22受容体a2によるアトピー性皮膚炎の制御機構の解明と治療法の開発
伊東 孝通	九州大学	毛包に発現する新規転写因子OVOL1, OVOL2の機能解明
中村 元樹	名古屋市立大学	大気汚染によるアトピー性皮膚炎の発症メカニズム -Aryl Hydrocarbon Receptorのリガンド特異的な作用を介したロリクリン発現の抑制
高野 貴士	日本獣医生命科学大学	単純ヘルペスウイルスの再活性化を誘導する分子の探索
加藤 哲久	東京大学	宿主免疫回避機構に注目した抗ヘルペスウイルス剤に関する研究
川島 晃	帝京大学	ブルーリ潰瘍におけるマイコラクトンの細胞死誘導機構の解明
三宅 智子	岡山大学	rδ型/αβ型種痘様水疱症の重症化因子の検討
竹下 大二郎	産業技術総合研究所	HSVウイルスUS11タンパク質による自然免疫抑制機構の解明
藤田 岳	近畿大学	難治性中耳炎による感音難聴進行メカニズムの解明
嶋 秀明	昭和薬科大学	アレルギー性鼻炎抑制のための制御性T細胞誘導における腸内細菌叢-宿主タンパク質分解応答の解析
山本 圭佑	札幌医科大学	RSウイルス関連小児急性中耳炎に対する治療戦略の確立のための基礎的研究
高橋 有己	京都大学	抗原搭載多機能性エキソソームの開発とアレルギー性鼻炎治療への適用に関する研究
飯沼 智久	千葉大学	スギ花粉症舌下免疫療法の効果予測因子と機序を探る
意元 義政	福井大学	スギ花粉症に対する短鎖脂肪酸による抗炎症作用の研究
村上 亮介	日本医科大学	メカノストレスから見た鼻茸生成のメカニズムの解明と治療への応用
村上 大地	和歌山県立医科大学	肺炎球菌の鼻咽腔保菌から感染症重症化の過程におけるボトルネック効果の解明と予防への応用
佐藤 琢磨	東北大学	血流障害に起因する下部尿路障害に対する超音波及び低出力衝撃波を用いた新規治療法の開発
井上 貴浩	信州大学	難治性下部尿路症状に対する積層型間葉系幹細胞凝集体シートを用いた新規治療開発
今井 一男	埼玉医科大学	LAMP法とペプチド核酸を用いたフルオロキノロン耐性淋菌の革新的迅速同定法の開発
関野 陽平	広島大学	マウス前立腺オルガノイドを用いた5α還元酵素阻害薬耐性機序の解明
新井 隆之	千葉大学	間質性膀胱炎・機能性RNAプロファイルの作成と新規分子ネットワークの探索
胡口 智之	福島県立医科大学	病原体感染を介した炎症カスケードによる前立腺肥大症発症メカニズムの解明と新規治療法の探索
岡田 桂輔	神戸大学	尿路感染症における高度薬剤耐性遺伝子集積配列の解析ならびにその迅速診断法の確立
高岡 栄一郎	国際医療福祉大学	前立腺肥大症に伴う蓄尿症状におけるアデノシン受容体シグナルの役割について
堀田 祐志	名古屋市立大学	4次元制御可能なNO放出剤を用いた間質性膀胱炎治療法の開発
小坂 征太郎	順天堂大学	二分脊椎症における排尿障害の病態解明、新たな新規予防・治療法を目指した基礎研究
及川 律子	聖マリアンナ医科大学	B型肝炎ウイルスのヒトCOX3ゲノム組込みによる発癌メカニズムの解明
竹田 治彦	京都大学	全ゲノム解析によるB型肝炎関連肝発癌メカニズムの解明
關場 一磨	東京大学	CRISPR/Casゲノム編集技術を応用したB型肝炎ウイルス維持機構に関わる因子の網羅的同定と介入法の開発
村居 和寿	金沢大学	HBV の細胞内侵入・輸送経路を標的とした新規抗ウイルス剤開発のための基礎的研究
大西 雅也	名古屋市立大学	NAFLDが慢性B型肝炎を増悪し肝癌を促進する機序の解明
友利 裕二	日本医科大学武蔵小杉病院	肺動脈性肺高血圧症発症に関与するBMPT2遺伝子の生体内における分子機構の解明と新たな治療薬の開発
田村 雄一	国際医療福祉大学	新世代シーケンサー-Nanoporeテクノロジーを用いた肺高血圧症ハイスループット遺伝子変異検索法の開発
木岡 秀隆	大阪大学	多層オミックス解析を用いた肺血管・右室リモデリングの分子機序解明と治療法開発
平出 貴裕	慶應義塾大学	特発性肺動脈性肺高血圧症における新規発症原因遺伝子候補の機能解析
堤 建男	順天堂大学	肺動脈性肺高血圧症の血管内膜病変進展における炎症性サイトカインの役割
谷木 信仁	慶應義塾大学	肺動脈性肺高血圧症病態発症/進展機序における食成分と腸内細菌関連因子の役割について

2018年度GSKジャパン研究助成

【2018年度GSKジャパン研究助成者 3/3】

敬称略・分野カテゴリー別申請順

氏名	所属機関名	研究課題名
久保 智史	産業医科大学	濾胞性ヘルパーT細胞-形質芽細胞を軸とした全身性エリテマトーデス治療標的の探索的研究
河野 通仁	北海道大学	神経精神ループスにおける細胞内代謝をターゲットとした新規治療開発
長洲 晶子	川崎医科大学	アダプタータンパク質SH3BP2の全身性エリテマトーデスにおける役割の解明
辻 憲二	岡山大学	ループス腎炎におけるSemaphorin3A のマクロファージ制御を介した病態機序解明
古賀 智裕	長崎大学	自然免疫と適応性免疫の架け橋であるインバリアントT細胞に注目した全身性エリテマトーデスの革新的診断法・治療法に向けた病態解明
伊藤 綾香	名古屋大学	全身性エリテマトーデスの病態形成における脂質の“量と質”の意義の解明
田疇 昌憲	徳島大学	筋腎連関制御に基づくループス腎炎新規治療標的の探索
朴 正薫	大阪大学	Type I interferonシグナルを制御する新規分子の同定
藤岡 数記	京都府立医科大学	ゲノム編集法とiPS細胞技術を用いたplasmacytoid DCにおけるSLE感受性因子の解析
片桐 翔治	東邦大学医療センター大橋病院	SLEの病態形成時におけるJunB依存的なTh17細胞の調節
日和 良介	京都大学	全身性エリテマトーデスのprecision medicineを目指す疾患サブグループ解析

【2018年度 審査委員】

敬称略・50音順

浅野 浩一郎	石塚 修	一ノ瀬 正和	岩月 啓氏
岡本 美孝	柿崎 秀宏	川内 秀之	熊ノ郷 淳
後藤 百万	塩原 哲夫	鈴木 哲朗	高崎 芳成
田中 靖人	中西 宣文	西村 正治	貫和 敏博
福田 恵一	福地 義之助	藤枝 重治	三森 経世
宮地 良樹	四柳 宏		